

# 月刊 地球基地

## 今月のごあいさつ

こんにちは、アースベースのノザワです。

8月。お盆です。ご先祖様を大切に想うこの頃はキュウリもナスも見かけなくなりました。それでも家にお坊さんが来てお経を唱えてくれる風習は残っていて、お坊さんは書き入れ時だそうです。

## 盆華麗

そこで“お坊さんあるある”です。

直接見聞きしたわけではないのですが、面白い記事だったので大丈夫な範囲で紹介させていただきます。

- ・じつはお茶と羊羹が苦手(仏道はいつでも修行なのです)
- ・経本を忘れる(忘れないようテーブルの上に置いておいたのに…)

・トイレ借りOKの家とNGの家がある(出もの腫れもの…)

- ・毎年、犬にめっちゃ吠えられる。(ガンバレ)
  - ・クールビズな襦袢がある(熱中症対策として)
  - ・頭皮に日焼け止め(そりゃねえ)。
  - ・扇風機の風でろうそくが消えぬよう体を張って火を守る。(本当か?)
  - ・チャッカマンがめっちゃ便利。(ナルホドナルホド)
  - ・アスクルのような住職向け通販カタログがある(卒塔婆のプリント材があるらしい)
  - ・ツイッターのフォロワーは増えても檀家さんは減るばかり
  - ・“釈由美子”が戒名に見える(本当か??)
  - ・読経中に着メロ(今はラインの♪ピロリンか?)
  - ・スマホやゲームに夢中だった子供もお経を唱えれば、ちゃんと手を合わせ、目を閉じてくれる。(こうでなきゃ)
- 今年のお盆も猛暑でしたね。暑い中のご供養いつもありがとうございます。



## 葛っ西

それは去年の今頃の話です。事業所の協力者様からこんな依頼をいただきました。

『来年、私の卒業した高校が開校 100 周年記念で同窓会から体育館の緞帳(どんちょう)を寄贈することにまったのだけれど、EARTHBASE に仕事を引き受けてもらえないだろうか?—』

緞帳(どんちょう)とは体育館で校長先生が話す舞台の上のヒラヒラしているアレ。それは舞台装置の世界、EARTHBASE で取り扱えるのは横弾幕ですから、正直手に負えません。ですが、せっかく頂いたお話なのでお断りするわけにもいきません。そこで展示会の設営や運営を手掛けている株式会社トーガシ <https://www.togashi.co.jp/>の秋元さんを同窓会に紹介させて頂きました。じつは秋元さんも緞帳を手掛けたことはなかったそうです。それでもよく研究してくれて“冷房のない体育館では蒸れるから生地を撥水性にしたほうが良い”“縫製は業者の閑散期に注文して値段交渉します”“データのない校章はこちらで作成します”など同窓会と学校のためになる提案を次々としてくれました。他の業者からも相見積もりをとっていたようですが、営業の誠実な対応が伝わって少し値段高めのとーガシさんに発注が決まりました。



施工は夏休み期間中の7月28日、29日。地上5m以上の高さから吊るしてある30年ものの緞帳を取り外し、大きなカーテンレールのカギのところ

のところに新しい緞帳を吊るしていきます。幕は3重になっていて、それが左右に6枚、天井からの長いヒラヒラー、重い布なので大変な作業です。それでもとーガシさんの社員6人、テキパキと働いてくれたおかげで7月29日午後3時、予定より2時間早く工事完了しました！今後30年間取り替えなくても平気なのだそうです。次回取り替える頃は、私たちお爺ちゃんになっちゃっていますね。作業を見ていただけの私ですが、こんな美しい舞台が完成すると自分がやったかのように嬉しいです。本当にありがとうございました！





## 吉田社長インタビュー

今回、トーガシさんの仕事っぷりに感動したものですから、『この素敵な会社の社長さんはどんな人なのだろう』と思いました。そこで秋元さんに無理にお願いして吉田 守克現社長に取材させて頂きました。

吉田社長のお父さんはもともと宮大工で、その後和菓子職人になったそうです。それに対し吉田社長は元銀行マンです。(関連性は不明)

銀行員として十数年働いた時、バブルが弾けたそうです。『銀行がつぶれる時代が来るかもしれない』と危機感を抱いて、思い切って転職した先が株式会社トーガシでした。銀行員時代の先輩が社長室長だったため吉田さん(当時)は社長室の配属となりました。入社後最初の仕事は社内改革。勤務時間中に競馬中継のTVを観たり、花札に昂じているような会社だったそうです。まず手始めに行ったのは朝礼の導入です。“経営理念の復唱→朝礼→ラジオ体操”の流れで社員が現場に駆り出され出勤が数人の時でも毎日続け、時間をかかったけれども社内風土は確実に変わっていったそうです。まさに“継続は力なり”ですね。

ここで吉田社長の持論。『ラジオ体操を真面目に出来ない者は会社を辞めていく』(おお、深い！)

次に手がけたのは、従来の呉服屋さんの展示即売会設営メインの仕事からの脱却でした。就職フェアや商社関連の展示会設営の仕事を増やして呉服屋関連の仕事のボリュームを減らしていったそうです。やはり数年かかって目標達成し業績を向上させました。

ところが、この時点で経営陣と方向性に食い違いが生じます。そして吉田現社長は会社を一度退社してしまうのです。転職して、しばらく不動産ファンドの会社に勤めた後、株式会社トーガシの経営改革にはどうしても必要な人材と新しい経営陣に請われて復帰したそうです。普通ありえないお話。そして現在に至ります。

以下、吉田社長語録。

・お客さんの“まあまあ”は“まだまだ”です。

“まあまあ”では不満足ということ。トーガシでは顧客から施工後アンケート実施して不満足な点を真摯に受け止めるよう指導しています。人間は内部からの指摘より外部からの指摘(外圧)のほうが受け容れるものと話しておられました。(一見習わなくては！)

・仕事は楽しくなかったら続けられない。

楽しさの要因は“やりがい(好きなこと)”“待遇”そして、“尊敬できる先輩がいるか”です。(一ズバリ！)

・愛情の反対語は“無関心” (一真理だ)

・現場を知らずして営業は出来ない。(一体験してナンボですな)

・新卒を毎年採用して普通の会社より長い研修期間を持ちます。

たとえ3か月で辞めた社員でも、よそに勤めても通用する社会人になってほしいから… (一深い話)

・職場の仲間(フォーマル)と現場の仲間(インフォーマル)。

とくに現場の仲間と仕事を達成した時に、絆がより強くなる。(一パチパチパチ)

沢山のためになる話が聴けました。

吉田社長は優秀な経営者であるとともに立派な人格者でした。

吉田社長はディスプレイ協同組合の理事長を兼任されているので、

やがて業界全体が向上することも時間の問題でしょう。

最後に将来の夢を2つ語っていただきました。1つはイベント大学を作り、

そこでイベント専門の職人を養成したり、専門プロデューサーを育成する夢だそうです。もう一つは業界団体が運営する展示場の建設。

2020年の東京オリンピックではビッグサイトがプレスセンターとして利用されるため展示会が出来なくなります。外圧に左右されない展示会場を作って業界全体を守りつつ成長させたいとおっしゃっていました。中国や欧米並みのスケールの大きな展示会を開催してクライアントが世界中から集まる国にしたいと語っておられました。

端正な面持ちの中に密やかに熱く燃える情熱。粋な人物にお会いできました。

## 編集後記

今月号は少し真面目な内容になってしまいました。株式会社トーガシの社員さんの仕事ぶり、吉田社長の話、とても感銘いたしました。紙面の問題で書き切れなかったことがたくさん残っています。

さて、暑さはまだまだ続いています。アイスクリームを食べ過ぎたり、ビールを飲み過ぎたりして、お腹をこわさないようくれぐれも気を付けて下さい。“食欲の秋”はもうすぐです。

【月刊地球基地】 発行人：一般社団法人 EARTH BASE

健全者と障がい者が一緒になってサイン・看板を製作しています。

〒132-0034 東京都江戸川区小松川 3-2-1 テクノタウン 306

TEL : 03-5875-5941

FAX : 03-5875-5942

mail : [info@earth-b.jp](mailto:info@earth-b.jp)

URL : <http://www.earth-b.or.jp/>

